をとするののにする

２３２４

１６

１　（１～６）

２　をとするの（７・８）

３　をとするをするためのの

１　の（９・１０）

２　のためのの（１１～１４）

３　（１５）

４　をとするのをするための（１６～１９）

５　（２０）

づくりのとなるとしてをげるにあっては、てのが、のにかかわらず、のあらゆるのににし、そのをにするとともに、にとをし、えいながらしていくことがである。

しかしながら、は、なお、びへの、そののから、はのなにおいて、ないをけ、はがされないことにより、そのやがげられているがある。

こうしたをするためには、が、びにするとをめることにより、のをし、へのをげているをりいていくがある。

このようなの、、びがとなってをとするのにりみ、てのがみれたでえい、しながら、らしときがい、をにる「まち」のをし、このをする。

１

（）

１　このは、をとするののにし、をめ、のびにびのをらかにするとともに、びのための、びにするとのそののをとするののにするのとなるをめることにより、をとするのをし、もってのにすることをとする。

（）

２　このにおいて、のにげるのは、にめるところによる。

⑴　　、、（びを。）、によるそのののの（ 「」とする。）があるであって、びによりにはになをけるにあるものをいう。

⑵　　があるにとってはをむでとなるようなにおける、、、そののものをいう。

⑶　ない　ななく、をとして、でないとなるないをすることをいう。

⑷　　のにじたののためのかつなは（はのにうがであるものをく。）をいう。

⑸　をとする　な的いをすることはがされないことをいう。

⑹　　をとするののにする（２５６５。１０２２において「」という。）２７にするのうち、そのがのにおいてわれるもの（でめるをく。）をいう。

（）

３　をとするののは、にげるをとしてわれなければならない。

⑴　てのは、でないとしく、をするとしてそのがんぜられ、そのにふさわしいをされるをすること。

⑵　のは、をするとして、、そのあらゆるのにするがされること。

⑶　てのは、なり、どこでとするかについてののがされ、においてのとすることをげられないこと。

⑷　も、ないにより、のをしてはならないこと。

⑸　のは、のをするときは、がされるがあること。

⑹　てのは、があることにえ、、そののなにより、よりなにかれているときは、そのにじたがされるがあること。

⑺　も、をとするにするのはにたっては、するとされるとをけ、をにし、はにをえようとしてはならず、おいのをまえたのなによるをとすること。

⑻　も、のくがびにする、そののからじていることびにもがをすることとなるがあることにみ、びにするとをめるがあること。

⑼　てのは、なり、（をむ。）そのののためのについてののがされるとともに、のはのためのについてのののがられること。

⑽　てのは、においてそののにじたながなされるがあること。

（の）

４　は、のにのっとり、びにするとのそののをとするののにするをかつにし、びするをする。

（の）

５　は、そのをうにたっては、びにするとをめるとともに、をとするのにけたをにい、びがするをとするののにするにするようめることによって、３ののになをたすものとする。

（の）

６　は、びにするとをめるとともに、がするをとするののにするにするようめることによって、３ののになをたすものとする。

２　をとするの

（ないの）

７　びは、そのはをうにたり、な的いにより、のをしてはならない。

（の）

８　は、そのはをうにたり、はそのそのの（「」という。）からにのをとしているののがあったにおいては、のをすることとならないよう、をしなければならない。

２　は、そのをうにたり、からにのをとしているののがあったにおいては、のをすることとならないよう、をしなければならない。

３　をとするをするためのの

１　の

（の）

９　は、をとするにするににずることができるようのびのためのそののなのをするものとする。

（の）

１０　も、にし、をとするにするをうことができる。

２　は、をとするにするをけたときは、をとするのをるため、にじ、にげるをずるものとする。

⑴　にるをとするののの

⑵　びこののびにするびにのにるそののの

⑶　にるをとするのにるび

⑷　へのそのの

⑸　にげるもののほか、にるをとするのをるためにな

２　のためのの

（はあっせんのて）

１１　１のによるをったは、２のによるがじられてもなおをとするのがまれないとめるときは、にし、をとするにするのをるためになはあっせんをうようしてることができる。

２　は、のによるはあっせんのてがあったときは、てにる（このにおいて「」という。）のをにするためのをうものとする。

３　のは、ながあるをき、のにしなければならない。

（はあっせん）

１２　は、２のの、ののためにがあるとめられるときは、１５にするにはあっせんをうことについてするものとする。

２　は、のによるをけたにおいて、はあっせんをうがあるとめるときは、はあっせんのをし、にするものとする。

３　は、のによるがあったときは、そのをまえ、にるにし、はあっせんをうものとする。

（）

１３　は、のであるがののいずれかにするときは、にして、のになをずべきのをすることができる。

⑴　ながなく、１１２のによるをみ、げ、はしたとき。

⑵　１１２のによるをったにおいて、のをし、はのをしたとき。

⑶　３のによるはあっせんをったにおいて、ながなく、はあっせんのをせず、はしたはあっせんにわないとき。

（）

１４　は、のをけたがながなくてにわないときは、そのびにのび（にあっては、その、のびたるの）をすることができる。

２　は、のによりしようとするときは、あらかじめ、のとなるにそのをし、でめるところにより、をべるをえなければならない。

３

１５　のをるため、（このにおいて「」という。）をく。

２　は、にげるをつかさどる。

⑴　１２１のによるにじ、についてし、びすること。

⑵　のによるのにづき、はあっせんのをし、にすること。

⑶　２にげるもののほか、のをるためにな

３　は、５をもってする。

４　は、のにけてなをすることができ、かつ、のにしれたをするそのがとめるのうちから、がする。

５　のは、２とし、ののは、のとする。ただし、をげない。

６　のをし、はさせるためがあるときは、にをくことができる。

７　のは、のにしなはをするのうちから、がする。

８　のは、のにするはがしたときは、されるものとする。

９　のびは、りたをらしてはならない。そのをいたもとする。

１０　にめるもののほか、のびにしなは、でめる。

４　をとするのをするための

（びにするとののための）

１６　は、びにするびのとをめるため、にげるにりむものとする。

⑴　びにするそののをうこと。

⑵　びにするとをめるためになをし、し、びすること。

⑶　びにするとをめるためのびをすること。

⑷　びにするとをめるためのをすること。

⑸　にげるもののほか、がとめる

（びの）

１７　は、がにをし、びし、そのをし、びにとのをることができるようにするため、、、の、かりやすいをいた、をいたそのののにじたのによるのをうとともに、にる、のにしなをずるものとする。

２　は、のにづいてにするをずるにたっては、がのをするであるとののにわなければならない。

（の）

１８　は、がし、はするおそれがあるには、のにじたのによるのをうとともに、のをするためになびのをうものとする。

（）

１９　は、をとするをするためのにし、ながあるとめられるものをすることができる。

５

（）

２０　このにめるもののほか、こののにしなは、でめる。

（）

１　このは、２１０１からする。

（）

２　は、このの、のをし、があるとめるときは、このののについてをえ、そのにづいてなをずるものとする。

　（６３２８２８）

このは、６４１からする。